

議 事 次 第

- 說明者 郵政省電波研究所長 糟谷 續
" " "
衛星研究部長 石田 享

委 19-1 第18回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨

委 19-2 宇宙開発計画の見直しに関する技術部会の審議
結果について

委 19-3 「宇宙開発計画（昭和51年度決定）」の見直
しに関する計画部会の審議結果について（報告）

委 19-4 技術試験衛星Ⅱ型（きく2号）のミリ波伝搬実
験（速報）

委19-1

第18回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 要 旨

- 1 日時 昭和52年7月20日（水） 午後2時～4時
- 2 場所 宇宙開発委員会会議室
- 3 議題
 - (1) 長期ビジョン特別部会報告について
 - (2) 昭和52年度8～9月期のロケット打上げ計画について
 - (3) 静止気象衛星の打上げ結果について（速報）
- 4 資料
 - 委18-1 第17回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
 - 委18-2 昭和52年度8～9月期のロケット打上げ計画について
 - 委18-3 TT-500型ロケット2号機打上げ計画書
 - 委18-4 我が国の宇宙開発に関する長期ビジョン（第1部総論）
 - 委18-5 "（第2部各論）
 - 委18-6 静止気象衛星の打上げ結果について（発表文）

（参考配布）

- SESノート K-16 522
- " " 523
- " " 524
- " " 525
- " " 526
- " " 527

5 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

" 委員

" "

" "

網 島 毅
吉 識 雅 夫
八 藤 東 福
斎 藤 成 文

説明者

東京大学宇宙航空研究所教授

宇宙開発事業団副理事長

" 理事

" 打上管制部長

" 搭載電子装置開発グループ

総括開発部員

小 田 稔
松 浦 陽 恵
鈴 木 春 夫
村 尾 忠 義
高比良 昭

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

" 長官官房参事官

工業技術院総務部長

運輸省大臣官房参事官

気象庁総務部長

海上保安庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

建設省大臣官房技術参事官

園 山 重 道
佐 伯 宗 治
沢 井 新一郎
（代理：高橋）
沼 越 達 也
（"：上田）
宇津木 巖
（"：高谷）
鈴 木 登
（"：石井）
門 田 博
（"：寛）
細 川 弥 重
（"：渡辺）

郵政省電波監理局

宇宙開発事業団

"

"

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

宇宙国際課長

宇宙開発課長

原 田 祐 治

黒 田 泰 弘

平 野 睦 弘

飯 塚 裕 久

伊 藤 栄 一

三 浦 信

雨 村 博 光他

6 議事要旨

(1) 前回議事要旨について

第17回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨が確認された。

(2) 長期ビジョン特別部会報告について

斎藤成文長期ビジョン特別部会長及び小田稔作業グループ主査から資料委18-4及び5に基づいて説明が行われたのち、以下の質疑応答が行われ、報告が了承された。

八藤：特に議論の対象になつたものは何か。

小田：惑星探査や有人飛行の問題、また国際協力と我が国の自主性の問題等に議論が多かつた。

吉識：政策大綱を策定する上で、我々もいろいろ勉強していかなければならないので長期ビジョンにおける主要点特に問題となつた論点等について関係者の方から別途説明願えないか。

網島：長期ビジョンを政策大綱にどのように組入れるかを議論していく上で、さらに小田主査はじめ関係の方の御協力をいただきたい。

八藤：この長期ビジョン特別部会報告をふまえ、政策大綱を策定するために今後の作業の進め方を検討する時期にきたと考える。

網島：この長期ビジョン特別部会報告を了承する。

なお、網島委員長代理から委員会を代表して長期ビジョン特別部会長はじめ関係者に対して長年にわたる報告書とりまとめの作業に対し謝意が表された。

(3) 昭和52年度8～9月期のロケット打上げ計画について

事務局から資料委18-2に基づいて、また、宇宙開発事業団の鈴木春夫理事及び村尾忠義打上管制部長から資料委18-3に基づいて、それぞれ説明が行われたのち、打上げ計画が了承された。

(4) 静止気象衛星の打上げ結果について（速報）

宇宙開発事業団の松浦陽恵^{おきよし}副理事長及び高比良昭搭載電子装置開発グループ総括開発部員から資料18-6に基づいて説明が行われた。